

平成28年1月27日

## 平成27年度 第3回学校関係者評価書

南アルプス市立若草小学校  
校長 森田 亨

〔会議日時〕 平成28年1月18日（月）午後7時00分～午後8時30分

〔会議場所〕 若草小学校 校長室

〔出席者〕

・学校関係者評価委員4名

望月 保さん（若草地区自治会連合会長 下村区自治会長）

村松 秀樹さん（社会教育委員 学校評議員）塚原 久美子さん（主任児童委員、学校評議員）

長嶺 裕二さん（PTA会長、学校評議員）

・学校側3名

森田 亨（校長）

横小路 豊（教頭）

時田 直人（主幹教諭）

### 1 学校からの説明事項

第2回学校評価、各アンケートの集計結果について

- ①児童アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について
- ②保護者アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について
- ③教職員アンケート内容及び集計結果・考察・改善策について

### 2 意見交換

（1）学校評価のアンケート結果から

学校関係者評価委員より、学校評価について意見をいただいた。

主な意見は、次のようなものである。

- 学芸発表会に参加できなかったが、何人もの地域の方から「すごく良かった」という感想を聞きました。
- 子どもたちがよくあいさつをしてくれる。「お帰り」と声をかけると、「こんにちは」と返してくれます。
- 朝元気よくあいさつする児童とそうでない児童とがいます。「声を出してあいさつしましょう。」と呼びかけています。
- 歩道と車道の境界ブロックの上を歩いている児童がいました。バランスを崩して車道に入ると危ないので、注意しました。特に今日は雪が降ったこともあり、とても危険でした。
- 小学生の体力や運動能力が落ちているのではないかと感じます。ボール投げとか話題になっています。スポーツ少年団に入っている児童と、入っていない児童で特に外遊びをしない児童とでは差があるのではないかと思う。運動能力がないとすべて転んだなど、体が対応できないこともある。けがをするなどの経験から学ぶこともあると思います。

体力が落ちていることが気になります。

○夜型の生活スタイルになり、夜寝るのが遅い児童がいるのではないかと。昼間、体をいっぱい動かしていると夜眠くなるのではないかと。そういう習慣がないのではないかと。ニュースなどみていると気になることが多いです。

○若草中学校では、合唱部やバレーボール部などここ2年間くらいで成果が出ているように感じます。陸上部も大月駅伝などで頑張っていると聞きました。スポーツや音楽で先輩たちが頑張っているから、自分たちもという意識を持ってくれたらよいと思います。小中連携を進めていただき、よい手本を見せることは良いことと思う。中学生も責任感が見られ、成果が見られる。異年齢でのコミュニケーションをとることはとても良いことだと思う。

## (2) 教育活動について

教育活動について、次のような質問をいただき、学校側から回答をした。

①質問：学校が楽しいとは子供たちにとってどういう状況なのでしょう。

回答：友だちと一緒に過ごすとか、先生と楽しく勉強できているなど、全体的なイメージを聞いている質問になっています。

②質問：学校が楽しくないことは、いじめにもつながることが考えられます。保護者の方が厳しい意見を持っているが、その点についてどのように考えているのでしょうか。

回答：アンケートからは細かい原因についてはわかりませんが、気になる児童については学習面や生活面において、個別に丁寧に対応しています。アンケート以外にもさらに深く追及していく場合もあります。

意見：楽しい学校を目指して、先生方ががんばってもらいたいと思います。

③質問：家庭学習強化週間とは、どのような内容で行っているのですか？

回答：学期に一度、家庭に呼びかけて行っています。保護者に協力を求め学習への意欲付けや動機づけといった意味があります。

意見：家庭の環境も影響があるのではと感じます。夫婦共働きの中で保護者も大変であるが、家庭の協力が必要だと感じています。

意見：子どもとの会話の中で、宿題や自主学習について話題を出して聞くようにしています。ノートへサインできるときはサインをするように心がけています。家庭学習は習慣づけることが大切であると思います。

④質問：家庭学習に取り組むにつけて、テレビの視聴時間はどのくらいあるのでしょうか。情報では一般論としてテレビを見る時間は減っていると聞くこともあるが、そうであればその時間は何に使われているのかと思います。

回答：実態調査は行っていませんが、家庭での子どもたちの過ごし方など実態が詳しくわかるとよいと思います。今後の検討課題とします。

意見：非正規勤務の保護者や不規則な勤務時間の保護者も増えていると思います。子どもたちと接する時間が減っていることも考えられます。

⑥質問：携帯やスマートフォンなどの所持はどのくらいでしょうか？

回答：低学年ではキッズ携帯を所持している子が多く、高学年になるとスマートフォンを所持している児童が増えてきています。多くのスマートフォンはゲームなどの機能がついており、ゲームをする児童もいると思われれます。また、友だち同士でラインをしている児童もいることを確認しています。

意見：犯罪的な面もあり心配です。使い方に気をつけていただきたいです。

⑦質問：食事也十分にとれていないなどの問題もあるのではないのでしょうか。料理をしないと人間は退化していくということも聞きます。朝食をとる子ととらない子と、現状はどうなのでしょう。

回答：児童一人ひとりをよく見てサポートしています。どのような服装か、またきちんと洗濯されているか、など注意してみています。保護者ともいろいろな話題の中で様子を聞いていく場を作っています。心配な状況にある児童については、早めに気づくようにしていきたいと考えています。

意見：子どもの貧困が6人に1人という数字があります。家で勉強できる状況ではないと感じます。学校へ行きたくなくなるとか、将来社会へ出てから、仕事につけないなど悪循環になるのではないかと心配です。

平成27年度第3回学校関係者評価委員会では、以上のような意見・質問をいただいた。

第2回の学校評価と第3回目の学校評価を比較すると、良くなった点もあるが、課題もまだまだたくさんある。全保護者からいただいたアンケート結果の資料を無駄にしないよう、来年度も引き続いて学校改善のために努力をしていきたい。